

日本共産党甲良町支部が見解を發表しました。

# 力をあわせ取り組んできました。

日本共産党は、党をつくって85年、一貫して「住民の苦難の軽減」を立党の精神にしてがんばって来ました。甲良町でも、西澤議員は2期8年にわたって、常に住民の「暮らしの願い」に耳を傾け、共に歩んでいます。

## これで安心 県道甲良多賀線に歩道が

県道甲良多賀線の久光精肉店から、Kモールまでの歩道設置工事が完成し、よろこばれています。

西澤議員と日本共産党支部は県会議員とも連携して、土木事務所(当時)や町に粘り強く交渉をつづけてきたことが、ようやく実りました。

引きつづき、町民がよく利用する河瀬駅北側の踏切の一日も早い拡幅をと、彦根市議団とも連携して、県に要望しています。また、Kモール前交差点の信号機を早期に設置するよう関係機関に対し取り組みます。

## 「ゆがみを直し、 行政サービスは等しく」

甲良町が、同和対策事業で買収した51ヶ所・約1万6千㎡もの土地を長年放置し、一部で地代・固定資産税などを徴収してこなかった問題では、西澤議員ら5名が、原因と責任を明らかにし、『同和行政』のゆがみを清算するため、『前町長に約5300万円の損害賠償を請求せよ』と、現町長に求める裁判に取り組んでいます。

西澤町議は、議会の責任としてこの問題を解明するため、『調査特別委員会』設置を提案しました。そして、『同和行政はやめて、行政サービスは等しく』と訴えています。

## 【妊婦検診の助成拡充に努力】

町は12月議会で西澤議員の質問に答え、現行2回・1万円 平成20年1月1日出産予定の妊婦さんに、5回・2万5千円 4月1日から、12枚券・合計3万円に拡充計画を表明。

西澤議員は、この夏「妊婦の健康診断に対する補助の回数を増やしてほしい」との相談を受け、妊婦さんと共に要請。9月議会で取り上げ、11月に「せめて多賀町なみの8回に」と要望書を提出。12月議会で「さらに充実し、子育て世代の支援を」と提案してきました。



役場前交差点の横断歩道設置も議会で取り上げてきました。

